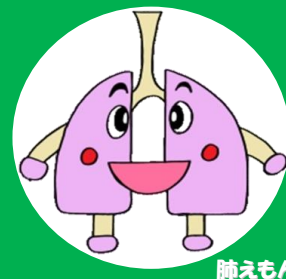


多摩府中保健所感染症週報

平成30年 第33週 (8月13日~8月19日)



今週の傾向

★RSウイルス感染症の報告数は、増加はありませんが引き続き高めに推移しています。

★手洗い・咳エチケットを行い、集団生活では飛沫感染・接触感染に注意しましょう。

●定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第32週	第33週	第32週	第33週
インフルエンザ	インフルエンザ	0.35	-	0.33	0.03
小児科	RSウイルス感染症	1.94	1.47	1.66	1.39
	咽頭結膜熱	0.18	0.13	0.24	0.22
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.18	0.67	1.23	0.89
	感染性胃腸炎	2.88	2.27	3.40	2.44
	水痘	0.24	0.27	0.17	0.12
	手足口病	0.53	0.60	1.15	0.70
	伝染性紅斑	0.59	0.40	0.78	0.61
	突発性発しん	0.35	0.13	0.44	0.31
	ヘルパンギーナ	1.88	1.13	2.57	1.49
	流行性耳下腺炎	0.29	-	0.09	0.03
	不明発しん症	0.18	-	0.08	0.07
	川崎病	-	-	0.01	0.01
	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-
流行性角結膜炎		1.00	0.33	1.12	0.45
基幹	細菌性髄膜炎	-	0.67	-	0.08
	無菌性髄膜炎	-	0.33	-	0.12
	マイコプラズマ肺炎	-	0.33	0.08	0.20
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	0.33	0.33	0.04	0.04
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-
	インフルエンザ (入院)	-	-	-	-

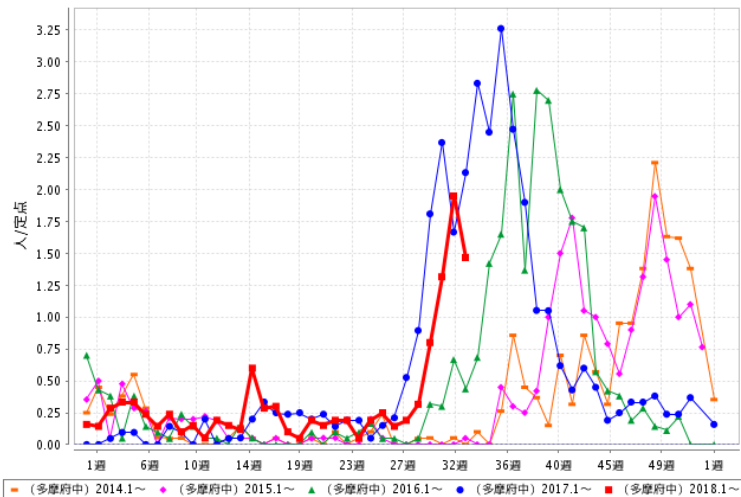
※平成30年1月第1週より百日咳が定点把握対象疾患から全数把握疾患に変更されました。

今週の状況 …過去 5 年間の比較

赤線は 2018 年第 33 週までの定点あたりの報告数

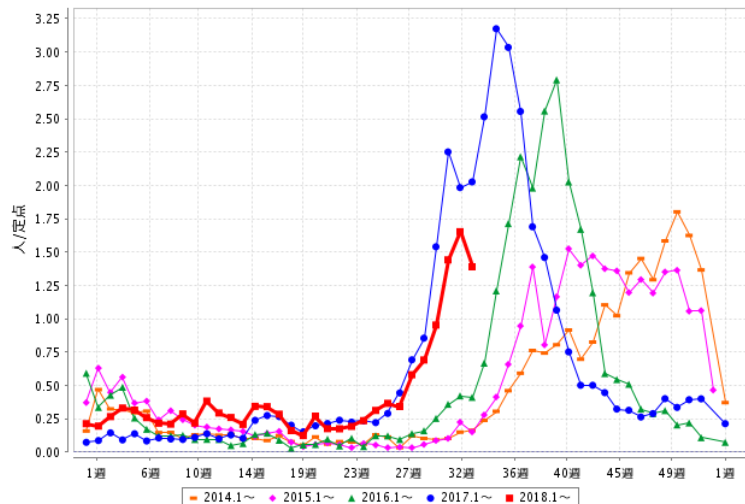
●RS ウイルス感染症・・・引き続き高めの水準で推移しています。

多摩府中保健所管内



©2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

都内



©2002-2018 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

情報提供

風しんの発生報告数が増加しています。

2018 年 1 月 1 日～8 月 17 日までに東京都で 45 件の届出がありました。

年齢階級性別では 20 歳代から 50 歳代で予防接種歴無し又は不明の男性からの報告が増加しています。

風しんは、妊娠初期に感染すると胎児感染をおこし、赤ちゃんに先天性風しん症候群を発症する可能性があります。風しんの予防にはワクチン接種が有効です。

※以下の方は特に、ワクチン接種の検討をお願いします。

- ① 30 歳代から 50 歳代の男性（抗体値が低い方が 2 割程度存在しているとされています）
- ② 妊婦の夫、子ども及びその同居家族
- ③ 妊娠を予定または希望する女性

風しんについての情報は、下記の「東京都感染症情報センターHP」を参考にして下さい。

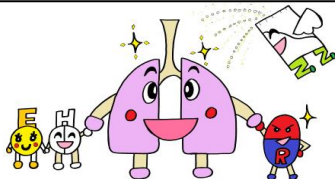
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは？：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第 14 条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は、対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

参考）指定届出機関（定点医療機関）

- インフルエンザ定点：管内 33 機関（都内 419）
- 小児科定点：管内 21 医療機関（都内 262）
- 眼科定点：管内 3 機関（都内 39）
- 基幹定点：管内 3 医療機関（都内 25）



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当
TEL：042（362）2334（代表）



🔍 検索 多摩府中 感染症週報